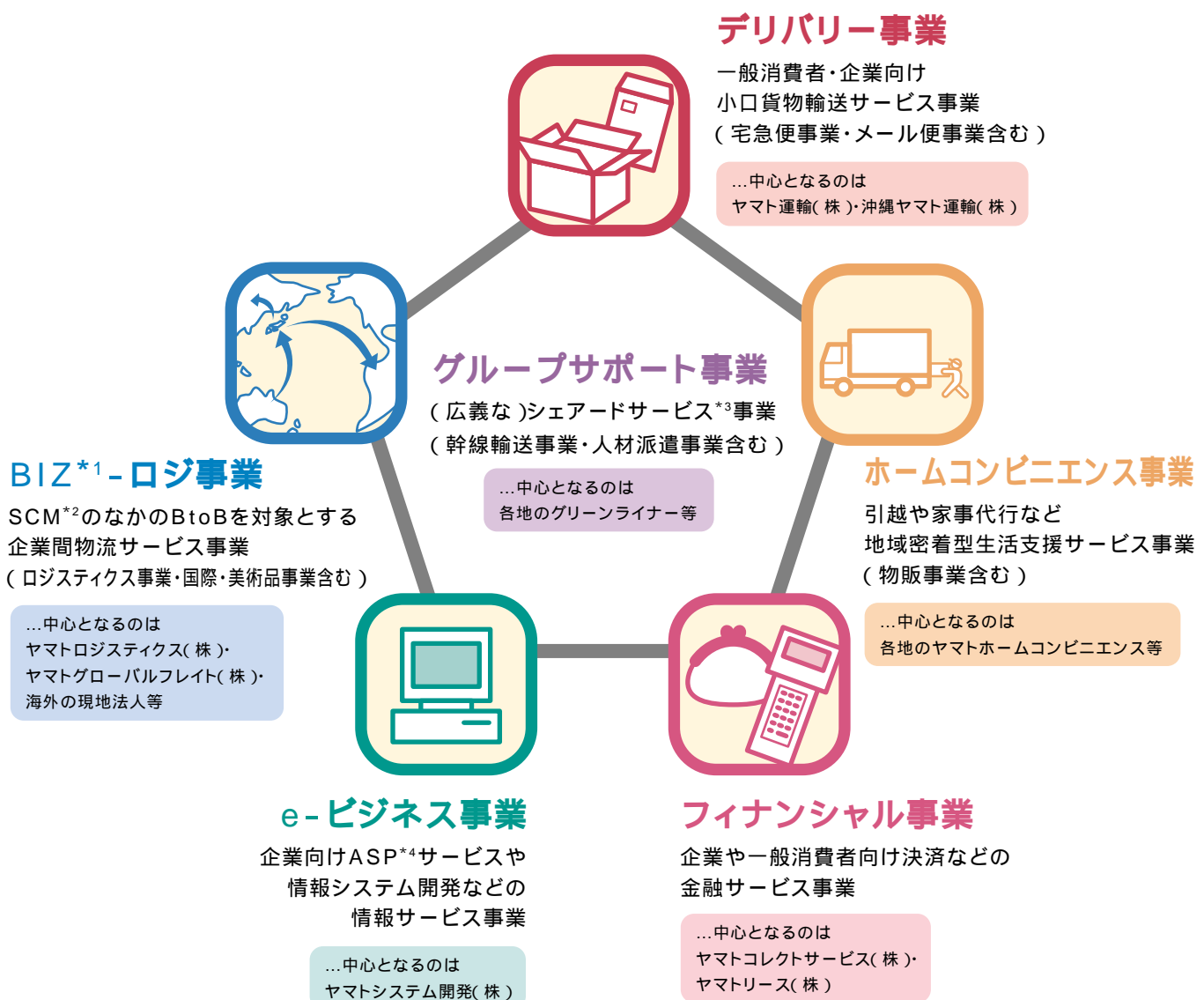




5つの事業フォーメーションを軸に 総合力を強化

ヤマトグループでは昨年4月より、中期経営計画「ヤマトグループ新生進化3か年計画」を推進しています。事業領域を明確に整理し、分社形態を基本に事業毎の企業フォーメーションを積極的に組み直しています。各社での具体的な活動も本格化するなか、今年の9月で中間点を迎えました。同計画の骨格となる5つの事業フォーメーションと、その有機的な機能強化を導くグループサポート事業を指標に、計画の進展状況や今後へ向けた取り組みをご紹介します。

ヤマトグループの事業フォーメーション



*1 BIZとはビジネス(Business)の意味 *2 受発注・原材料調達・在庫管理・配送という川上から川下までをIT(情報技術)を駆使し、総合管理する経営手法
*3 複数の会社の仕事を集約・総合化することで効率アップとコスト低減を実現する事業 *4 ユーザーにオンラインでソフトウェアを提供するサービス事業

デリバリー事業

デリバリー事業では、お客様により使い勝手の良いサービスをお届けすることが大きなテーマです。

すでに情報インフラの再構築ややる気を引き出す人事制度への変更など、基盤整備が進展しました。03年4月には宅急便エリア・センター制を導入し、5,600か所以上の宅急便センター・ネットワークを、行き届いたサポートのもとで効率的に運営する仕組みを形成。これまで以上にきめ細かいサービスを提供できるよう組織改革を行いました。

商品面では、03年4月に小型サイズの新設などリニューアルしたクロネコメール便が順調なスタートを切りました。また03年6月からは、留守がちなお客様向けに、東武鉄道が展開する「スマートロッカー」対応の「102ロッカー宅急便」を開始しました。このほか、i-CATsブランドのインターネット関連サービスの充実などが進展しました。

今後、市場競争はさらに激化すると予想されますが、ヤマト運輸は、お客様に喜ばれる品質の向上とサービスの拡充を推進し、揺るぎない優位性の確立に努めていきます。

BIZ - ロジ事業

BIZ - ロジ事業では、輸送から在庫管理まで、多様な企業間物流ニーズに対応しています。顧客企業の販売戦略支援を使命とし、ロジスティクスサービスの提供やトータルコスト低減を通じて、顧客企業の発展に貢献することがテーマです。

03年4月からは、サービス全体をコーディネートするヤマトロジスティクス(株)を中心に、国際部門に強みを持つヤマトグローバルフレイト(株)など国内外15社で連携する体制を構築。ロジスティクスアウトソーシング、物流コンサルティング、情報システム構築などに取り組んでいます。

ロジスティクスサービスには、物流支援に加え、より効率的かつフローコストなオペレーションを実現するソリューション提供が求められています。ヤマトグループの強みは、海外から国内のお客様まで一貫したトータルソリューションを提供できること。今後もこの強みに磨きをかけ、高度化する顧客ニーズに応じていく考えです。

ヤマトグループでは、直接あるいは間接的に顧客企業の販売戦略をサポートします。今回は、ヤマトロジスティクス(株)がご提供するソリューション事例のひとつをご紹介します。(詳しくは <http://www.y-logi.com/> をご参照ください)

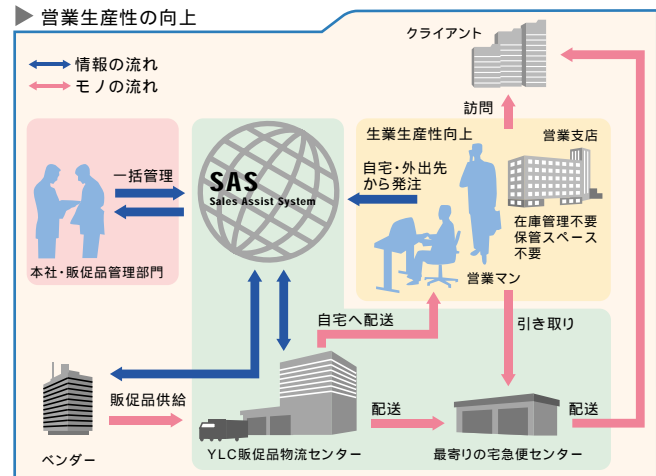
改善事例 製薬会社A社の販促品物流改善

営業拠点での販促品の在庫管理をヤマトロジスティクス(株)にアウトソースした結果、重複するアイテムが整理され、偏在がなくなることで、トータルの在庫量が減少するとともに欠品率も大幅に改善されました。

セールスアシストシステム(SAS)の導入により、営業マンはいつでもどこからでも必要な販促品を必要な量、発注できるようになりました。

注文した販促品を、どこでも受け取れるようになり、各地の営業拠点に立ち寄る必要がなくなったため、営業にける時間が増加し営業生産性が向上しました。

営業拠点では、在庫管理スペースの削減と、在庫管理業務に関わる間接人件費の圧縮ができました。



ホームコンビニエンス事業

ホームコンビニエンス事業のテーマは、生活を便利にする多彩なサービスを地域に密着して提供し、お客様に身近なパートナーとなることです。引越や家事代行サービスなどの提供に加え、例えば、高齢のお客様向けの家具移動サービス、共働き世帯向けの掃除代行サービスなど、時代や社会のニーズに応えるよう努めています。

03年7月から順次、引越事業の分社化・統合を行い、全国各地に当事業を一括して提供するヤマトホームコンビニエンス各社を設け、地域密着の理念に沿って円滑な事業展開を進める体制を固めました。

03年10月に、ヤマトホームコンビニエンスグループのホームページをスタートさせました。おなじみの引越サービスのほかにも、毎日の生活に欠かせない日用品をはじめ、買い物には重くて面倒なもの、かさばるものなど、お客様の立場で商品を揃えた「得選市場」や、ヤマトホームコ



TOPICS

障害者の自立を支援する事業を強化



スワンベーカリー

ヤマトグループでは、事業を通じて障害者の社会的な自立を支援しています。宅急便の仕分けターミナルでの作業や主管支店での事務などでの障害者雇用を進める一方、障害者に働く場を提供する事業を推進しています。

98年に設立した(株)スワンでは、ベーカリーチェーンを全国展開し、パンの製造・販売業務を通じて、障害者がみずからの収入を増やし、働きがいや生きがいを持って自立を図っていく機会を広げてきました。03年9月までに全国に10店舗を設けています。01年には、(株)スワンネットを設立し、障害者作業所からの商品の仕入・販売・卸を行う事業に参入しています。03年6月には、福岡市に炭焼きから販売まで障害者が一貫して行う、(株)スワン製炭を設立。さらなる事業領域の拡大が図られました。